

知覚の変容と文化表象

- 2 巻頭言
- 6 衣服の二重性
——またはラーマノワの挑戦
沼野恭子
- 25 アヴァンギャルドの身体性
——モダニズムにおける知覚の変容をめぐる序論的考察
山口裕之

寄稿

- 40 テロリズムと私小説
——リービ英雄の表現と『千々にくだけで』
柴田勝二
- 54 『低開発の記憶』にみる植民地知識人の戦略
——カリブ文学論その1
久野量一
- 66 ペルシア神秘主義説話文学にみる「狂人」
——アッタール著『神の書 (Ilāhi-nāmah)』の場合
佐々木あや乃

報告

- 84 マルガリータ・ビラ・ダ・ビラ教授
(ポリビア、サン・アンドレス・デ・ラパス大学)
講演会「アンデスに生きる西洋中世：キリスト教教会と先住民芸術における“人魚”の表現をめぐる」
久米順子
- 85 LA COSCIENZA DELLO ZEN
Italo Svevo e l'arte di smettere di fumare
ゼンの意識——イタロ・ズヴェーヴォと禁煙の嗜み
石井沙和
- 88 ドイツ民主共和国と統一 25 年後の東ドイツ地域
山口裕之
- 89 東南アジア文学の今
《インドネシアのメガ・ヒット小説》
——作者アンドレア・ヒラタが語る『虹の少年たち』の世界
青山亨

- 91 特別レクチャー「エコール・ド・パリのウクライナ人芸術家たち」ヴィタ・スサク講演会
前田和泉
- 93 映画から見るエジプト
——喜劇王アーデル・イマームとともに
八木久美子
- 95 戦後日本文学とアメリカ
柴田勝二

書評

- 102 チュット・カイ著／岡田知子訳
『追憶のカンボジア』
煌めきと暗黒の記憶
朝日由美子
- 107 丹羽京子編訳
『ベンガル詩選集：もう一つの夢』
藤井守男
- 110 井筒俊彦著／野平宗弘訳
『禅仏教の哲学にむけて』
現代の訳経僧
水野善文
- 114 マシャード・ジ・アシス著／武田千香訳
『ドン・カズムッホ』
『ドン・カズムッホ』とイスマノアメリカ文学
久野量一
- 118 ロベルト・ボラーニョ著／久野量一訳
『鼻持ちならないガウチョ』
定まらぬもののスケッチ
武田千香
- 121 ペトルシェフスカヤ著／沼野恭子訳
『私のいた場所』
不思議な場所の物語
前田和泉
- 総合文化研究所 2014 年度活動報告
編集後記